

令和4年度事業計画書

1 障害者スポーツ大会の開催

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

(1) 第16回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

<令和4年度開催計画>

開催日	競技	対象	会場
4月30日(土)	陸上、フライングディスク	車いす	ユニバー記念競技場
5月13日(金)	バレーボール	精	県立障害者スポーツ交流館
5月14日(土)	バスケットボール バレーボール	知	県立障害者スポーツ交流館
5月15日(日)	水泳	身・知	三木山総合公園屋内プール
5月21日(土)	ボッチャ	身	県立障害者スポーツ交流館
5月22日(日)	ボウリング	知	神戸六甲ボウル
5月27日(金)	サウンドテーブルテニス	視	県立障害者スポーツ交流館
5月29日(日)	陸上競技	身・知	県立三木総合防災公園
	フライングディスク	身・知・精	
	ソフトボール	知	
	サッカー	知	
6月3日(金)	卓球	精	県立障害者スポーツ交流館
6月4日(土)	卓球	身・知	県立障害者スポーツ交流館

身…身体障害者／知…知的障害者／精…精神障害者／視…視覚障害者

(2) 兵庫車いすロードレース(仮称)開催事業

丹波篠山市において開催してきた「全国車いすマラソン」をリニューアルし、障害者スポーツにふれる機会の少ない地域において、車いすロードレース及び障害の有無に関わらず参加できるユニバーサルリレー、パラスポーツ体験会等を実施することにより、新たな参加者層の開拓や県内全域での普及やスポーツツーリズムの推進を図る。

開催日・場所 11月頃予定 場所：県立公園等

【参考】令和4年3月6日(日)県立赤穂海浜公園にて、全国車いすマラソン代替事業として「兵庫ユニバーサルマラソン2022」を実施。(参加者：約200人)

2 全国障害者スポーツ大会等への選手派遣

(1) 第22回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム(団体競技)を決定する近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣する。

令和4年度は、兵庫県主催でソフトボール(知的)近畿地区予選会を実施。

開催日・場所 令和4年6月5日(日) 天王ダムスポーツガーデン(神戸市北区)

【近畿地区予選会(6月上旬)】

競 技	主 催
車椅子バスケットボール(身体)	近畿車椅子バスケットボール連盟
バスケットボール(知的男子・女子)	神戸市
バレーボール(聴覚男子・女子)	近畿ろうあ連盟
バレーボール(知的男子・女子)	滋賀県 (R5:兵庫県予定)
バレーボール(精神)	大阪府 (R5:兵庫県予定)
グランドソフトボール(視覚)	(社福)日本盲人会連合近畿ブロック協議会
ソフトボール(知的)	兵庫県
サッカー(知的)	京都府

近畿地区連盟等がない競技は、近畿府県・政令市が持ち回りで開催

(2) 第22回全国障害者スポーツ大会への選手派遣・育成

栃木県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため合同練習会を開催する。

大会期間 令和4年10月29日(土)～31日(月) 3日間

開催場所 栃木県宇都宮市 ほか

派遣人数 約170人(予定) 選手 約100人/コーチ・介護人 約70人

(3) 全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催される全国車いす駅伝競走大会に兵庫県チームを派遣する。

開催日 令和5年3月(予定)

会 場 国立京都国際会館前～西京極総合運動公園陸上競技場

3 障害者スポーツ団体の育成・拠点整備

(1) 競技団体運営支援

競技団体の競技力向上や競技人口の拡大のため、団体が行う大会の開催や選手派遣等に要する費用を助成する。

対象団体 35団体(令和4年3月現在)

助成額 上限 10万円

(2) 競技別団体設立支援

全県的な競技人口の拡大を図るため、その競技において県を代表する連盟・協会等の新たな設立に要する費用を助成する。

助成額 上限5万円

(3) 地域における障害者スポーツ推進拠点の整備

県立特別支援学校、企業、大学、団体等の体育施設を地域における障害者スポーツの拠点として活用するため、支援員(近隣の障害者スポーツ指導員等)による管理運営、活動指導等の支援を行う。

4 障害者スポーツ人材の育成

(1) 障害者アスリートマルチサポート事業の実施

専門的指導者の技術指導、栄養学等の講座、用具メンテナンスやリハビリの指導、記録会、一般スポーツ団体との交流等、多面的な支援を行うことにより障害者アスリートの総合的な競技力向上を図るとともに、一般競技者と双方向の交流によるパラスポーツへの参画者の増大を目指す。

(2) 兵庫県障害者スポーツ指導者養成講習会の開催

地域における障害者スポーツ指導者養成のため、公益財団法人 日本パラスポーツ協会公認「初級障がい者スポーツ指導員」の養成講習会を開催する。

受講資格 県内に居住又は勤務(在学)する 18 歳以上の者

日 程 講義：令和 5 年 1 月 14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)

実技：令和 5 年 1 月 22 日(日)

会 場 兵庫県民会館(神戸市中央区)／障害者スポーツ交流館(神戸市西区)

(3) 審判員等養成講習会の開催

審判員や指導者が不足する競技の審判員等を養成するため、競技団体と合同で審判員等養成講習会を開催する。

5 障害者スポーツの普及啓発

(1) パラスポーツ王国 2022 の開催

障害の有無や程度に関係なく障害者スポーツに親しむことのできる参加型のイベントを開催する。(神戸市との共同開催)

開催日・場所 令和 4 年 11 月 3 日(木・祝) しあわせの村(神戸市北区)

(2) 障害者スポーツ出前講座の実施

小中学校、企業、福祉団体等において、障害者スポーツの出前講座を実施し、障害者スポーツへの理解・参画を促す。

実施回数 36 箇所程度

(3) パラスポーツ体験会の実施

スポーツにふれる機会に乏しい障害児向けの体験会を実施し、スポーツの楽しさを体感しスポーツを始めるきっかけとすることで、障害児の社会参加促進や競技の裾野拡大を図る。

開催内容 競技用義足、競技用車いす等の体験会(年 2 回)

(4) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援

障害の有無に関係なく、障害者スポーツを楽しむイベント等の開催費用を助成する。

助成対象 10 大会(ひょうご障害者スポーツ指導者協議会各支部等主催)

助成額 上限 3 万円 + 1 万円(新型コロナウイルス感染防止対策)

(5) スポーツ協会広報誌の発行

当協会が実施する大会等の情報を中心に障害者スポーツ関連の話題を掲載した広報誌を発行し、各都道府県・県内各市町・関係団体・障害者スポーツ指導員等に配布。
(年2回発行)

(6) パラリンピック写真展・障害者スポーツ絵画展の開催

小中学校・施設等において写真展・絵画展を実施することにより、障害者スポーツへの理解を促す。

(7) 「スペシャルオリンピックス支援・ひょうごトーチラン」の実施

スペシャルオリンピックスへの理解促進と、障害者支援のための人材育成、兵庫県から全国大会に出場する選手の応援等を目的として、トーチラン開催を支援する。

(8) 兵庫県障害者スポーツ功労賞、特別優秀選手賞、優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰する。

(9) 国際大会出場選手への激励金の贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手の表敬訪問及び激励金の贈呈を実施する。

対象大会 パラリンピック (5万円)、
デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会、アジアパラ競技大会 (3万円)
その他 理事長が認める大会

6 (公財)日本パラスポーツ協会受託事業

「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」や「地域における障がい者スポーツの振興事業」など、当協会の目的と合致する事業について積極的に受託し、実施する。

7 関係機関との連携

(1) 障害者スポーツ応援協定による取組

大学や企業、団体等との間で「障害者スポーツ応援協定」を締結し、練習場所の提供やボランティア派遣等、様々な形での障害者スポーツへの参画・支援を推進する。

協定締結団体 89団体 (大学等20、企業58、団体11)

(2) 障害者スポーツネットひょうごとの連携

県内の障害者スポーツ関係団体・施設等を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、協働事業の展開や、情報共有を行う。

(3) ひょうご障害者スポーツ指導者協議会との連携

地域で活動する指導者で構成する「ひょうご障害者スポーツ指導者協議会」の一層の活性化を図り、県内障害者スポーツの振興に資するため、指導者協議会との密接な連携協力のもと、各種大会の開催、全国障害者スポーツ大会への選手派遣等を行う。

(4) スポーツクラブ 21 ひょうごとの連携

県内全小学校区に設置されている地域スポーツクラブ「SC21 ひょうご」と連携し、地域での障害者スポーツへの取組を促進するため、スポーツクラブの代表者が集う全県サミットにおいて障害者スポーツの体験企画等を実施する。

(5) 神戸世界パラ陸上、ワールドマスターズゲームズ関西主催団体との連携

新型コロナ禍の影響により実施が延期されている両大会の開催に向け、各主催団体や関係団体との連携・協力を進める。

(6) ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)整備への協力

県が計画している新たな障害者スポーツ拠点の整備に協力する。

場 所 県立総合リハビリテーションセンター(神戸市西区)

機 能 アリーナ/温水プール/卓球室/アーチェリー場等

※ 埋蔵文化財の追加調査等により、着手時期未定

(参考) 財政基盤の強化

(1) 賛助会員の募集

関係団体、協賛実績のある法人、企業、社会奉仕団体等に兵庫県障害者スポーツ協会だより送付の機会等を活用し、広く加入を呼びかける。

(2) 協賛企業の開拓

兵庫県のじぎくスポーツ大会等の協賛企業の新規開拓を進めるとともに、大会プログラムへの広告掲載を積極的に行い、広告収入の拡大を目指す。

(3) 障害者スポーツ支援自動販売機の設置

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機設置台数の増加を推進するため、学校・企業等に対して設置協力を依頼する。